



2026 年 1 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 D & M カ ン パ ニ ー
代 表 者 名 代表取締役社長 松 下 明 義
(コード番号：189A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役管理部長 南 浦 佳 孝
兼経営企画部長
TEL. 06-6456-7036

投資資産残高（連結）に関するお知らせ（2025 年 12 月）

当社は、ステークホルダーへの情報提供の迅速化および強化を図るため、重視する経営指標のひとつである投資資産残高について、月次で公表することとしております。

【投資資産残高推移】

(単位：百万円)

	2025 年 6 月	2025 年 7 月	2025 年 8 月	2025 年 9 月	2025 年 10 月	2025 年 11 月
買取債権	7,591	7,568	7,899	8,176	8,216	8,287
リース債権及びリース投資資産	100	97	95	94	91	89
営業貸付金	650	647	645	393	494	642
投資資産残高 合計	8,341	8,314	8,640	8,664	8,802	9,019
診療・介護報酬債権買取社数	81 社	81 社	83 社	86 社	92 社	98 社

	2025 年 12 月	2026 年 1 月	2026 年 2 月	2026 年 3 月	2026 年 4 月	2026 年 5 月
買取債権	8,334	－	－	－	－	－
リース債権及びリース投資資産	84	－	－	－	－	－
営業貸付金	597	－	－	－	－	－
投資資産残高 合計	9,016	－	－	－	－	－
診療・介護報酬債権買取社数	99 社	－	－	－	－	－

※監査法人による監査を受けていない速報値であり、今後修正する可能性があります。

【2026 年 5 月期の投資資産残高推移について】

2025 年 12 月は、新規 2 社(債権買取 1 社、貸付 1 社)と取引を開始しました。買取債権は 46 百万円増加した一方、営業貸付金の回収やリース債権の減少があったことから、投資資産残高合計は前月末比 2 百万円の減少となりました。

足元の案件取組状況を踏まえると、下半期は、上半期を上回るペースで投資資産残高が増加する見通しです。2026年1月以降は既存取引先の利用拡大に加え、新規案件の実行が順次見込まれることから、投資資産残高は堅調な増勢となることを想定しております。なお、各月の増減は、取引先の資金需要や審査・実行時期等により変動する可能性があります。

【投資資産残高を重視する理由】

当社グループは、医療・介護事業者に対し、経営支援を目的に複数のサービスを組み合わせて提供しています。なかでも、F & I（ファイナンス&インベストメント）サービスは、他のサービスを支える基盤であると同時に、2025年5月期では連結売上高に占める割合が50.1%、売上総利益率が68.9%と高水準であることから、事業全体の成長に不可欠なサービスです。また、F & Iサービスの売上の大半は、診療・介護報酬債権の買取による手数料収入であり、買取債権額に一定の料率を乗じて売上が計上されます。そのため、当社では事業拡大を測る指標として、診療・介護報酬債権を含む投資資産残高を重視しています。

※2026年1月末時点での投資資産残高の速報は、2026年2月16日（月）を予定しております。

以 上